

西東京市公民館市民企画事業

なぜ日本は原発を止められないのか？



ジャーナリスト

講師 **青木美希**さん

わが国は、福島第一原発事故がまだ収束していないのに原発の「最大限活用」を進め、新增設まで認めようとしています。青木さんは、大手新聞社の記者として東日本大震災の翌日から現場で取材活動をしました。また、数百人に上るといふ専門家や被災者との対話と証言をもとに「なぜ日本は原発を止められないのか？」との著書を刊行しました。この著書には「原子力専門家の疑問」「原子力ムラの人々」「原発と核兵器」といった章などがあります。福島原発事故とはなんだったのか？わたしたちは知らないことが多々あります。原発回帰でいいのか、ともに学び考えたいです。講演のあと、にしとうきょう市民放射能測定所あるびれお共同代表・小児科医 山田真さんとの対談を予定しています。

講師：青木美希（あおき みき）さん

●日時 **2025年3月2日（日）**

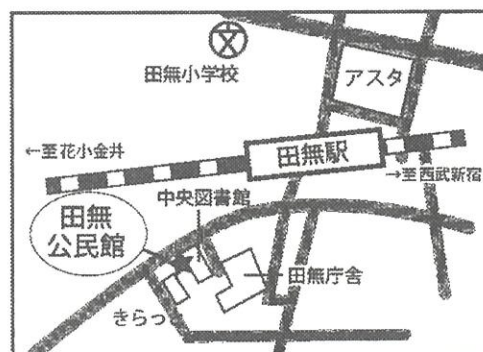
14:00～16:30（開場 13:30）

●場所 **田無公民館 視聴覚室（3階）**
西東京市南町 5-6-11（田無駅南口より徒歩 3 分）

●定員 **50 名** 事前申し込み不要・先着順

●資料代など **100 円** 高校生以下無料

●お問い合わせ先 佐藤 ☎090-2907-0551（18 時-21 時）



■共催：放射能測定を考える会・西東京 西東京市公民館

プロフィール 青木美希さん

ジャーナリスト、作家。日本ペンクラブ言論表現副委員長。札幌出身。エネルギー研究者の父の影響で原発問題を学生時代から30年にわたって調べてきた。北海タイムス、北海道新聞、全国紙と3社の記者を計23年。記者職を外れたのちもフリーとして取材を続け、近著『なぜ日本は原発を止められないのか?』は4カ月で5刷となり、2024年8月に脱原発文学大賞を受賞した。初の単著『地図から消される街』（講談社）は貧困ジャーナリズム大賞など3賞を受賞、ほかに『いないことにされる私たち』（朝日新聞出版）。記者としては「北海道警裏金問題」「プロメテウスの罠」「手抜き除染」で取材班として新聞協会賞を3度受賞。

「放射能測定を考える会・西東京」とは

「にしとうきょう市民放射能測定所あるびれお」の会員有志がつくったグループです。放射能を測定することで東京電力福島第一原発事故由来の放射性物質の汚染状況を知り、放射能、内部被ばく、原発のことなどを市民とともに学び、考えます。※「にしとうきょう市民放射能測定所あるびれお」とは2012年7月市民の力で開所しました。東京電力福島第一原発事故で大気中に放出された放射性物質のうちセシウム137は半減期が30年です。子どもの内部被ばくを心配し、食品中心に測定してきましたが、事故から10年以上経ち、近隣の野菜などの測定数値も減少しています。わたしたちの環境はどうなっているのか、と身近な土を測ったり、雨樋の下に放射性物質セシウムを吸収しやすいゼオライトを設置して放射能の測定を行うなどしています。詳しくはホームページをご覧ください。